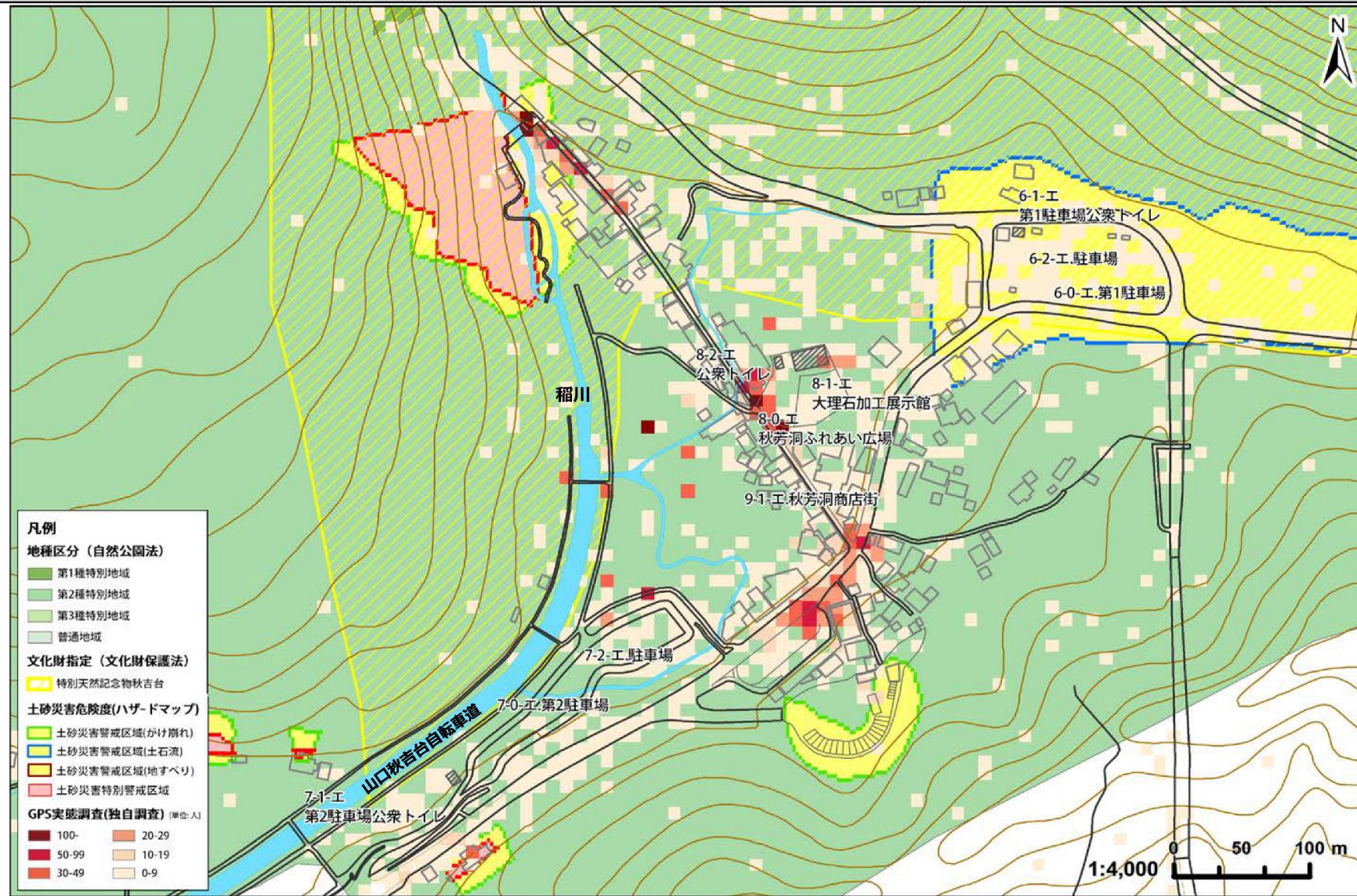


エリア配置図



エリア番号	エリア名称
工	秋芳洞商店街

エリアの位置づけ

- 秋芳洞バスターミナルと秋芳洞入口をつなぐ秋芳洞商店街は、秋芳洞・秋吉台観光のアプローチとして重要な位置づけにあり、観光客が最も集中する場所の1つ。
- 秋芳洞商店街（民間所有施設）、第1駐車場、第2駐車場、大理石加工展示館を含む秋芳洞ふれあい広場が立地している。西側には、稲川遊歩道が並行している。

エリア周辺の状況

- 閉鎖店舗のシャッターや、通りに点在する空き地・今にも崩壊しそうな廃屋が目立ち、寂れた印象を与えている。全46店舗中30店舗が営業をしており、稼働率は65%。
- 飲食メニューや土産物の訴求力が弱く、滞在性の高い飲食店等施設も少ないため、滞在時間が短く、単なる通過動線となっている。
- 第1駐車場、第2駐車場から秋芳洞商店街までの道のりが分かりにくく、歩道幅員が狭い等、安全面での課題がある。
- 秋芳洞ふれあい広場内の大理石加工展示館は、商店街からの視認性に欠ける。

ポートフォリオ分析に基く施設整備に関する課題抽出・整理

- 9-1-工秋芳洞商店街は、実態調査におけるGPS訪問者数において、秋芳洞に次ぐ高い値を示す一方、満足度調査においては全施設中最下位であった。ソフト、ハード含めた総合的検討が望まれる。
- 8-0-工秋芳洞ふれあい広場は、ハード評価は全施設中最も高い値を示した。ソフト評価全体ではやや高いが、実態調査におけるGPS訪問者数、満足度調査においては平均を下回っており、案内方法や展示内容等の検討が望まれる。
- 第1駐車場、第2駐車場の利用率は、ピーク時にて合計70%弱と、需要に対し供給が多い。バスやバリアフリー専用駐車スペースを設ける等の活用が考えられる。

エリアのポテンシャル、今後の向かうべき姿

- 秋芳洞・秋吉台のアプローチ空間である本エリアは、地域全体の印象を左右する程の影響がある。観光客目線に立ったサービスのあり方を考える必要がある。
- 秋芳洞ふれあい広場や、東西の駐車場、西側に流れる稲川遊歩道など、隣接するエリアとの回遊性や活用方法の検討が、滞在性向上に寄与する可能性が高い。

管理番号-棟番号-エリア番号	6-0-工	7-0-工	8-0-工	9-1-工	エリア総合	全施設平均
施設名称	第1駐車場	第2駐車場	秋芳洞ふれあい広場	秋芳洞商店街		
ハード評価	老朽化判定	33.0	35.8	47.6	30.5	
	建築年数	26.2	18.9	39.3	12.5	
	災害危険度	12.5	25.0	25.0	12.5	
	耐震性能	50.0	0.0	50.0	21.5	25.5
	バリアフリー性能	12.5	0.0	12.5	21.5	21.3
ソフト評価	合計	26.9	15.9	34.9	21.5	
	経済的評価	14.4	14.4	14.1	50.0	
	利用状況	17.7	5.5	39.2	8.2	
	実態調査	7.2	11.8	4.3	8.2	
	満足度調査			12.5	29.1	
合計	13.1	10.6	17.5	29.1	14.1	13.9